

代 表 者

行 政 視 察 報 告 書

平成 30 年 / 月 29 日

各 会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員

沖 田 範 彦

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

平成 30 年 1 月 14 日 (日) ~ 16 日 (火)

2. 調査項目

台湾 基隆市 市議会, 市政府訪問

---

市立安楽高級中学校視察

---

国立海洋科技博物館視察

---

3. 参加議員

沖田範彦

### 【調査目的】

平成29年の姉妹都市の提携に伴い、今後の交流促進を図るとともに相互の情報交換等を行うことにより、今後の呉市政に反映を図る。

### 【基隆市の概要】

人口：372,019人

世帯数：150,911戸

### 【調査項目】

市議会・市政府訪問

市立安楽高級中学視察

国立海洋科技博物館視察

### 【調査内容】

渡辺一照副議長を団長として、片岡議員、森本議員、北川議員、梶山議員、福永議員、沖田の7名と現地で岩原議員が合流した視察であった。

14日午前7時15分広島空港に集合し、中華航空で台湾へ。日本時間で9時の出発で、約3時間のフライトであったが、国内の移動と同じ感覚で苦にはならなかった。

台湾は親日国であり、色々な面で日本の良きを取り入れているようで、300万人の日本人が訪れている現実を見聞きすると、最も身近な外国であることが理解できる。

古宮において行われる衛兵の交替儀式を見学することができたが、これを見ると日本人の思考も相当変わってくるのではと感じ入った。

夕食の味は、大陸系のコッテリした味ではなく、淡泊で日本人の口に合うものであり、また、減塩にも配慮しているように思えた。

15日に基隆市議会を訪問し、議長の歓迎を受けた。活発そうな女性議長で、次の市長選挙に立候補する予定で、国民党への根回しに忙しく動いているとの事だった。選挙は大変盛り上がり、何でもありだということで、相当な資金を要するそうである。その点、日本とは大いに違うようである。

議会の権威たるや相当なもののように、議場も半端でなく、呉市のそれと比べると、呉市は可愛いものと感じられた。専用の食堂、サウナ、ジムがそろっていることにも驚かされた。

一方、市庁舎はいくつかの場所に分散されており、行政を運営するに当たって、

多少不便さがあるように思えた。

市職員との意見交換の場で、アニメ映画の効果について質問されました。場面に出てくる場所を訪れる人が増えており、映画の効果は大きいと答えたが、基隆の街おこしについて真剣に考えていると感じた。

市長は、東南アジアの人々に台湾にまず飛行機で訪れてもらい、基隆港より大型クルーズ船に乗ってもらい、日本への船旅の出発点にしたいという構想を持っているようで、呉に入港できる適地があるかないか現地に出向きたいと述べていた。

かつて、呉市の高校が訪問した安楽高級中学校を視察した。日本で言えば、中高一貫校のようだが、公立学校であるにもかかわらず、中学から高校に上がる時は、試験があり、全員がそのまま上級することができないようである。保護者会もしっかりしているようで、伝統を感じさせるエリート校と見受けた。

16日、ホテルを出発し、国立海洋科技博物館の視察を行った。旧石炭火力発電所を再利活用した施設で、少し趣が違う重厚感のある施設であった。

台湾の人達の観光先は、日本が圧倒的に多いようで、年間400万人ほどの人が訪日しているそうで、日本の四季折々の美しさを求め、北海道等が特に好まれているようである。

呉市としても、工夫すればもっとアピールでき、呼び込めるのではないかと感じる。また、呉市を挙げて、しっかりと友好を深めていかなければならないと思う。

#### 【呉市における今後のあり方】

日本と台湾とは歴史的にも、双方の国民とも親近感を持つ人が多いため、今後は一層の交流が期待できる。

呉市においても、その一翼を担うに値するものを持ち合わせているため、いかに活用していくかを、又どのような事業を提案しなければならないかを考えていけばよいと思われる。

ただ、呉市だけではなく、芸南エリア全体での取り組みに加えて、県北のスキー場を持つ市町と連携をしながら、滞在型の提案企画を実施すればと考える。

一方で、呉市内の大学に留学生の受け入れをしっかりと行うよう働きかけることも必要と考える。